

No. (24) 平成30年度 地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業成果報告書

事業名称	近代建築デザイン情報発信 及び ネットワーキング事業		
実行委員会	近代・建築芸術遺産情報発信プロジェクト実行委員会		
中核館	一般財団法人脇田美術館		
	住所	東京都渋谷区神宮前2-5-6 アマデウスハウス303〒150-0001	
	TEL	03-5785-4138	FAX 03-5785-4139
	ホームページ	http://www.wakita-museum.com	
構成団体	軽井沢町教育委員会、軽井沢町観光経済課、一般社団法人軽井沢観光協会、タリアセン		
事業開始時点の課題分析	近未来に国際的なコンパクト文化都市＝軽井沢町の在り方に向けて様々な提言がされてきており、町の歴史・別荘文化を形成してきた文化遺産をあらためて認識し、地域に於ける、芸術遺産、文化遺産としての歴史的建造物の価値や保存の意味を、地域の人々はもとより、全国にその問題意識を訴求し再考する機会を作ること。		
事業目的	国内外の美術館・大学・文化施設等で建築・保存公開等に関わる学術者・研究者等を招聘し、その動向と今後についてディスカッションを試みる。講演会を通じて、国際交流や、未来に向けた地域の文化財活用や観光経済に生かす。尚、建築デザインをテーマに、テーマが結ぶ文化的ネットワークを国内外に構築し、様々な視点からの文化・人的交流を促し活性化を図る。		
事業概要	1) 国際交流・近代建築情報発信事業として、海外の近代建築保存動向をテーマにした講演会の開催（シリーズ第3弾）：「近代建築デザイン講義2018」10月20日開催 2) 軽井沢に残る近代歴史的建造物、及び、国内外に点在する関連建築ネットワーク構築を図る為の調査・検討会議：2020年に向けて、国内、海外の建築デザインが結ぶネットワークを図り、地域関連施設との連携促進と併せて、相互の観光経済効果を図りつつ人的交流を促す。その後の文化交流と発展に結びつけていく。		

<p>実施項目 ・ 実施体系</p>	<p>(1) 地域文化の発信の核となる美術館・歴史博物館 <input type="checkbox"/>ア 美術館・歴史博物館の情報発信、相互連携 <input type="checkbox"/>イ ユニークベニユアの促進 <input checked="" type="checkbox"/>ウ 地域のグローバル化拠点としての美術館・歴史博物館 <input checked="" type="checkbox"/>エ 地域に存する文化財を活用した地域共働の創造活動や地域の魅力の発掘・発信</p> <p>(2) あらゆる者が参加できるプログラム及び学校教育や地域の文化施設等との連携によるアウトリーチ活動 <input type="checkbox"/>ア 小・中・高等学校と連携した地域文化の担い手の育成 <input type="checkbox"/>イ 大学等と連携した国内外で活躍する文化人材育成プログラムの開発 <input checked="" type="checkbox"/>ウ 社会人ほか多様な対象者のための学習講座の実施 <input type="checkbox"/>エ 障がい者の芸術活動支援・鑑賞活動支援等の事業</p> <p>(3) 新たな機能を創造する美術館・歴史博物館 <input checked="" type="checkbox"/>ア 観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等他分野との連携・融合による活動 <input type="checkbox"/>イ 文化財の新たな保存管理・活用の手法の開発</p>
<p>施後の 成果・効果等</p>	<p>1) 「講演会」事業についてテーマへの関心は高く（シリーズ第3弾）全国各地より110名の参加。関東(56%)県外(42%)からの来場者も目立った。男女比は6:4。参加者年齢は20～70代と幅広い。海外の保存活用の事例と共に“リビング・レガシー”の価値と意味を再考する貴重な講演会となり意見交換ができた。尚、海外招聘者にはあえて登録文化財に宿泊していただきテーマの本質を考えていただいた。講演会を通じて得た具体的な「課題・宿題」等を、今後の活動課題とし、町や都市、地域に住む人々へフィードバックを試みるような行動目標が生まれた。例) 1. 建築デザインが結ぶ国際交流やレジデンス、2. 地域の子供への見学・教育（地域の遺産価値を早くから学べる機会作り）等。尚、シンポジウムを機にDOCOMOMOネットワークメンバーに参加することによる海外への的確な情報発信の機会を得た。</p> <p>2) 建築ネットワーク構築に向け点在・現存する建造物調査として、関東・中部・北部・四国他、海外では、ニューヨーク、フィラデルフィア、ペンシルヴェニアを対象とし、東北、関西以西に関しては今後の対象予定とした。シンポジウム、及び、調査等から得た情報や協力をもって関係性の良いネットワーク化に繋がられるよう今後も引き続きアプローチを継続していく。</p> <p>特に、2020年に向けて、フィラデルフィアの日米協会を中心に日本文化と建築をテーマとする企画が掲げられており、将来的なく軽井沢とニューホープの国際文化交流に向けた文化・人的交流等に賛同を得ることができた。これを受けて具体的に計画を立案していきたいと考えている。</p>

【事業実績】

1) シンポジウムの開催

名称：「近代建築デザイン講義2018」

開催日：10月20日（土）13：00-

テーマ：日本のモダニズム建築をどう見るかー世界的な動きから

招聘ゲスト：アナ・トストエス（DOCOMOMO International 会長、リスボン工科大学教授）

森 俊子（建築家、ハーバード大学院教授）

ケン・タダシ・オオシマ（ワシントン大学シアトル校建築学教授）

松隈 洋（京都工芸繊維大学教授、文化庁国立近現代建築資料館運営委員）

* 敬称略

* ホームページ、ポスター、フライヤー等提出資料参照

* 収録 DVD、報告書参照

2) 調査・検討会議

軽井沢と縁が深く、日本の近代建築に多大な影響を与えたアントニン・レーモンドと、師事した近代建築の巨匠・建築家・吉村順三が設計した建造物を中心に、国内外の建造物の現存調査と、ネットワーキングに向けた調査と会議を行う。（継続中）